

オオシマザクラとヤマザクラ (馬堀自然教育園)



オオシマザクラ

ヤマザクラ

三浦半島の林に普通のサクラは、ヤマザクラと“市の木”オオシマザクラです。馬堀自然教育園では両種が、天神島臨海自然教育園ではオオシマザクラが見られます。いずれも花と葉が同時に出て、葉や枝などに毛がないことが、ソメイヨシノとの違いです。ヤマザクラは花びらが淡い紅色で、新葉は紅色、オオシマザクラは花びらが白色で、新葉は初めから緑色という違いで識別できます。オオシマザクラは、伊豆半島南部と伊豆諸島に自生し、材が有用なため、三浦半島でも盛んに植栽されました。葉は桜餅に利用されます。

コマッコウの頭骨 (天神島臨海自然教育園)

このコマッコウの頭骨(頭蓋骨)は平成22年4月、天神島臨海自然教育園の保護水域内にある笠島に死亡漂着した雄の成体のものです。コマッコウは小



型のハクジラ類で、世界中の暖かい海に分布していますが、生態がよくわかってない種類です。個体は解体処分されましたが、埋設しておいた頭部のみを平成24年12月に発掘・復元しました。長さ41cmある頭骨標本は、この種類として最大級のものです。

自然教育園だより

横須賀市自然・人文博物館付属 馬堀自然教育園 / 天神島臨海自然教育園

Vol.6 No.1

(2013年春号)

2013年3月31日発行

横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688

馬堀のみどころ (3~6月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



アスカイノデ (3月)



タブノキの新葉 (5月)



ヤブレガサ (4月)

新葉が開く！ 春から初夏はさまざまな花が咲くだけでなく、短い間に新芽が出て、新葉が開き、他の季節では静かな草木もさまざまな表情と動きを見せます。園内に多いシダの一種アスカイノデは、褐色の鱗片でおおわれた新葉がむくむくと立ち上がり、やがて広がって大きな緑の葉に変化します。ヤブレガサの新葉はその名の通り破れた傘のようで、やがて平らに開きます。また、タブノキの冬芽を覆っていた赤みを帯びた薄茶色の苞葉は、赤い新葉の展開とともにはがれ落ちます。



トウキョウサンショウウオの卵のう (3月)



ヤマアカガエル (3月)



エビネ (5月)



終齢幼虫 成虫
アカスジキンカメムシ (5月)



カワセミ (4月)



アサヒナカワトンボ (4月)



オオミズアオ (5月)



ザラエノヒトヨタケ (6月)



オオヒラタシデムシ (5月)

天神島のみどころ (3~6月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

海の中で花が開く！ 海草や海藻は水の澄んだ冬によく成長し、春に花を咲かせ、または胞子を放出します。メカブと呼ばれ粘り気のあるワカメの胞子葉や、最近話題のアカモクの胞子葉や、この時期ならではの食材です。普段は水中にあるアマモも、大潮の干潮時に葉を水面に漂わせ、リボン状の葉の間から黄色い花を観察することができます。



花粉を放出するアマモ (5月)



ハマエンドウ (5月)



ホシベニカミキリ (4月)



トベラ (4月)



カンムリカイツブリ (3月)



カナヘビ (6月)



クロヘリアメフラシ (3月)



オオキンカメムシ (3月)



アカスジカメムシ (6月)



カミクラゲ (3月)



テリハノイバラ (4月)

自然教育園の行事案内

今年度の行事についての詳細はリーフレット等をご覧ください

ウミウシの観察

平成24年6月3日、天神島臨海自然教育園で自然観察会「ウミウシの観察」を開催しました。恒例となっているこの観察会は、毎年たくさんのウミウシを観察できると好評の行事です。今回は参加者27名とともに探した結果、13種類のウミウシを見つけることができました。ウミウシの美しい色や形に、参加者からは感嘆の声があがりました。



ジボガウミウシ

◎2013年度は6月8日の9時30分～12時に予定しています(事前申込みが必要です)。

天神島ガイドツアー

天神島をもっとみなさんに知ってもらうために2012年度から月一回の観察会を始めました。自然教育園の概要をお伝えするとともに、生き物や出来事を紹介しています。その時に見られるもの(花・昆虫・海の生き物・漂着物など)や参加者の方の疑問や興味などを取り上げ、みんなで作る観察会を目指しています。申し込み不要で、どなたでも気軽に参加できますので、毎月第4日曜日、天神島自然教育園にぜひお越しください。



2012年夏の観察会のようす

◎2013年度は4月28日、5月26日、6月23日の10時30分～11時30分に予定しています。

自然教育園のできごと

馬堀自然教育園の森を手入れしました

馬堀自然教育園の森は三浦半島の典型的な雑木林です。ここでは、身近な動植物を観察しながら散歩を楽しんでいただくために、園内の観察路とその周辺で常に剪定や除草などの手入れをしています。外来種のトキワツユクサの除草だけでなく、繁殖力が旺盛なため増えすぎるヤツデ、アオキなどの常緑低木やアズマネザサ、シュロなどは森を暗くし、林床の多様性を損なうので、適宜伐採や



整備後に増えたヤマネコノメソウ

剪定を行っています。その結果、最近ではタチツボスミレやフキなどが増え、ヤマユリが毎年花をつけるようになりました。



フキ

天神島にイルカがやってきた!

今年の1月31日開館直後のことでした。教育園の職員がビジターセンターに「イルカ、イルカ」と言いつつ駆け込んできました。佐島の港内にイルカ類が来ているらしいのです。あわてて飛び出すと、目の前で悠然と泳ぐ2頭のイルカ(小型のハクジラ類)の間が確認できました。港にいたのはハナゴンドウという種類で、古老の漁師さんから、湾内深くイルカ類が入ってきたのは初めて見たと聞きました。2頭はこの日のうちに無事に湾の外に出て行ったようです。



1月31日に撮影されたハナゴンドウ。温帯と熱帯の海域に広く生息していますが、詳しい生態はわかりません

横須賀市自然・人文博物館と付属自然教育園のお問合せ

博物館(本館): 横須賀市深田台95 電話046(824)3688 Fax.046(824)3658

天神島臨海自然教育園・ビジターセンター: 横須賀市佐島3-7-2 電話(Fax.)046(856)0717

馬堀自然教育園: 横須賀市馬堀4-10-3 電話(Fax.)046(841)5727

◎博物館や教育園の情報や「教育園だより」は下記ホームページでもご覧いただけます
<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>